

社内の正解にたどり着けていますか？

～ 生成AIを導入したのに “成果が出ていない”
多くの企業が抱える課題と「活用定着へのヒント」～

パナソニックデジタル株式会社

アンケートにご回答いただいた方へ、 本日の発表資料をお送りします

アンケート

各設問に回答後、画面下の「回答」をクリックしてください。

アンケートにご協力ください_デキる管理者はOSとアプリを分ける！？ ～「苦労あるある」から考える、VDIの最適解～

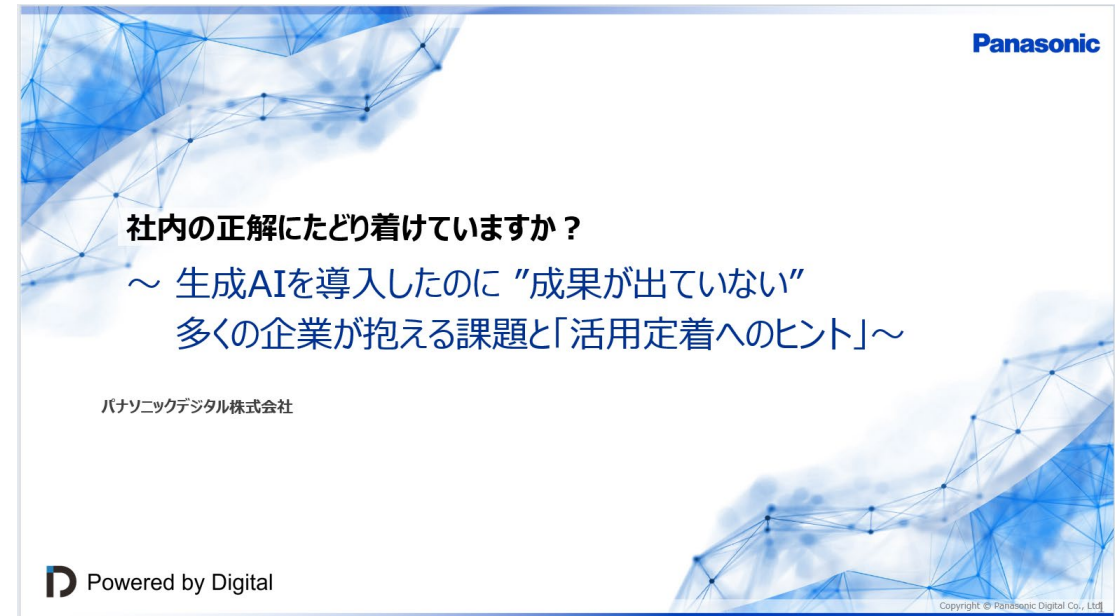
必須 1.会社名

必須 2.お名前

必須 3.セミナー資料を希望されますか

☐ 希望する

☐ 希望しない



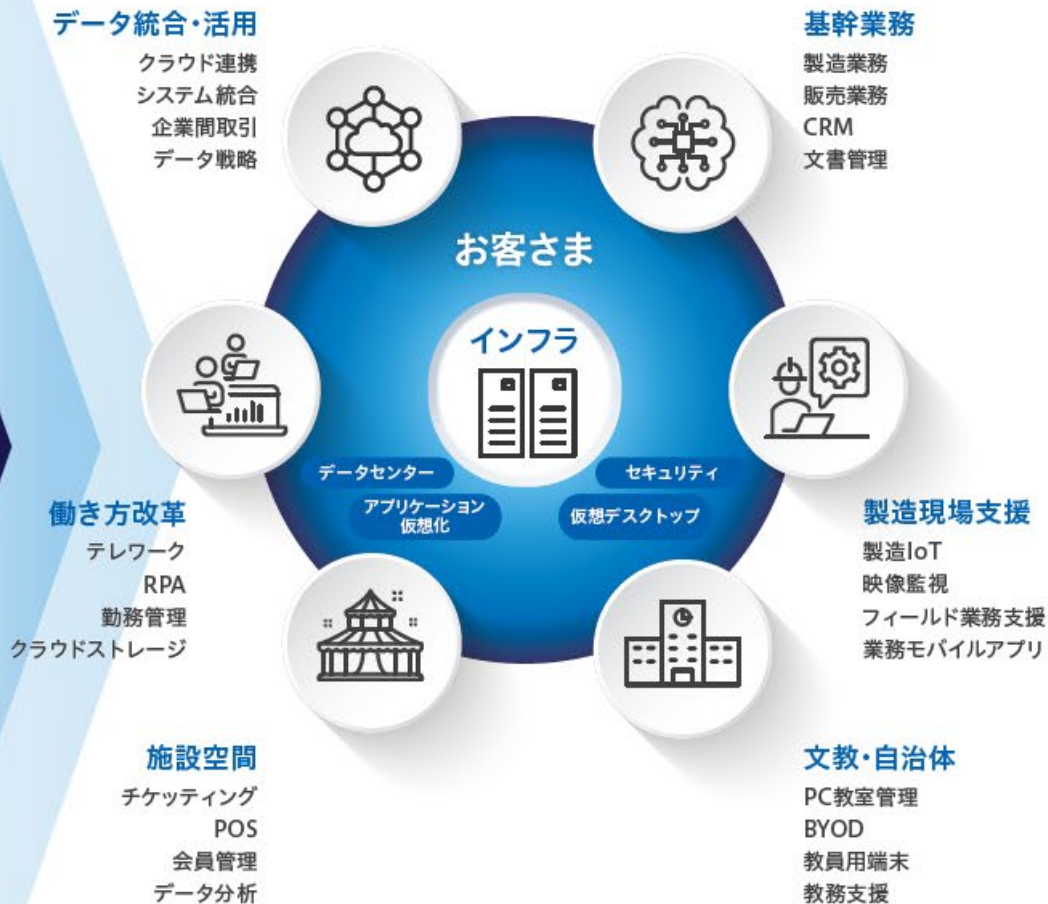
セミナー終了後、本日のセミナーの「アンケート」が表示されます。
ご回答いただいた方へ、本日の発表資料をお送りします。

パナソニックグループでの挑戦を通じ、B2B市場へ価値を提供



パナソニックグループの IT戦略をグローバルで支援

パナソニックグループのグローバルにおける
ビジネスと経営をITで支え、
Panasonic Transformation(PX)を推進しています。



篠原 瑠斗

Shinohara Ryuto

パナソニック デジタル株式会社
営業統推進統括部

- 民間企業様向けセールス
- 出身 鹿児島県
- 好きな物 靴、洋服



生成AIをうまく活用できず、思うように進まない企業の皆様へ、 成果につなげるためのヒントをお持ちかえりいただきます



本日は、生成AIを業務成果につなげるための新しいアプローチを具体的にご紹介します。

- 1 日本企業における生成AI利用状況
- 2 生成AI導入企業が抱える課題
- 3 エンタープライズサーチ「Neuron ES」による解決
- 4 エンタープライズサーチ「Neuron ES」とは
- 5 まとめ

1

日本企業における生成AI利用状況

2

生成AI導入企業が抱える課題

3

エンタープライズサーチ「Neuron ES」による解決

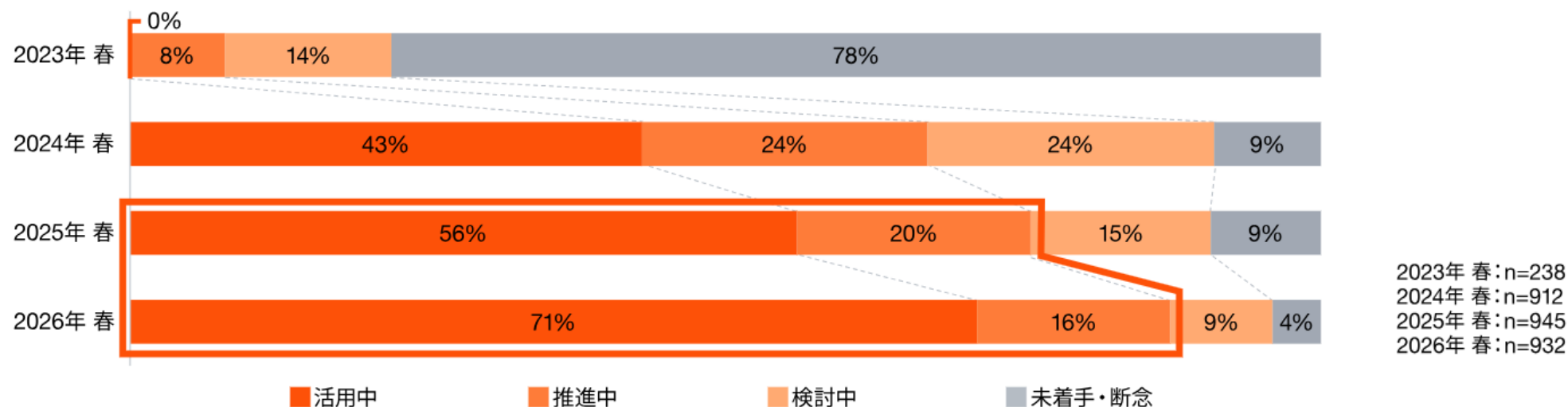
4

エンタープライズサーチ「Neuron ES」とは

5

まとめ

2026年では8割以上の日本企業が生成AIを活用・利用中

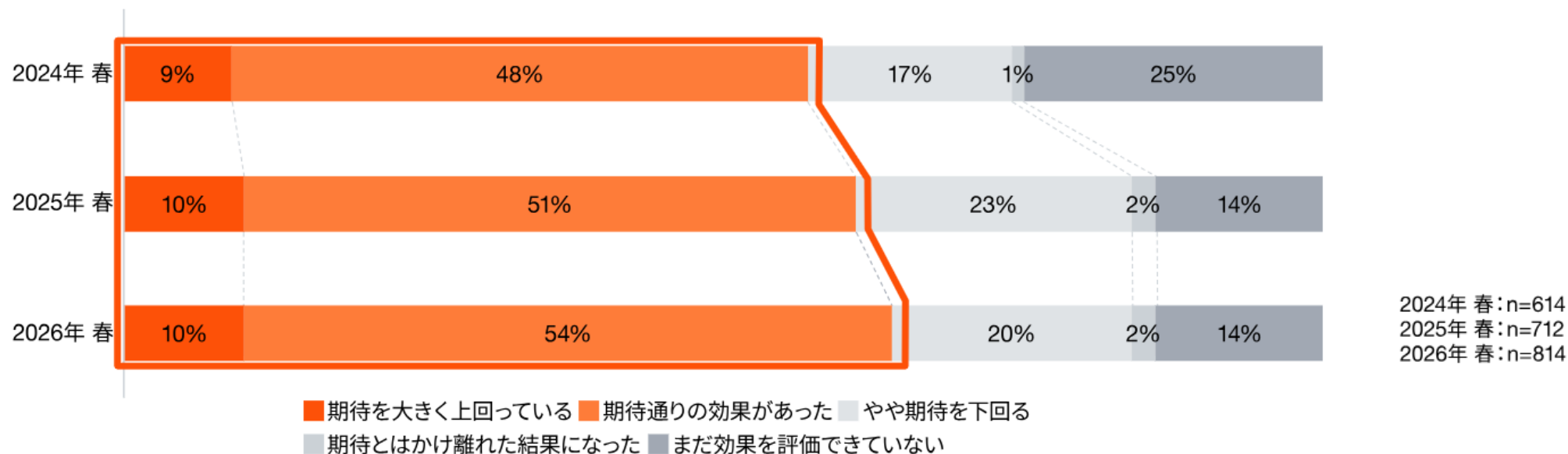


- PwCコンサルティング合同会社が2026年6月に売上高500億以上の日本国内企業を対象に調査した結果では、生成AIを「活用中」「推進中」の企業は87%
- 生成AIの利用は、一部の先進企業に限られた取り組みから、大企業における標準的な経営テーマへ移りつつある

出典: PwCコンサルティング合同会社「生成AIに関する実態調査2026 春 6カ国比較」(2026年6月10日)

[生成AIに関する実態調査2026 春 6カ国比較—AI変革は選択肢から生存条件へ 変わりゆく世界に日本企業は追いつけるのか— | PwC Japanグループ](#)

利用率拡大の一方で効果創出は横ばい



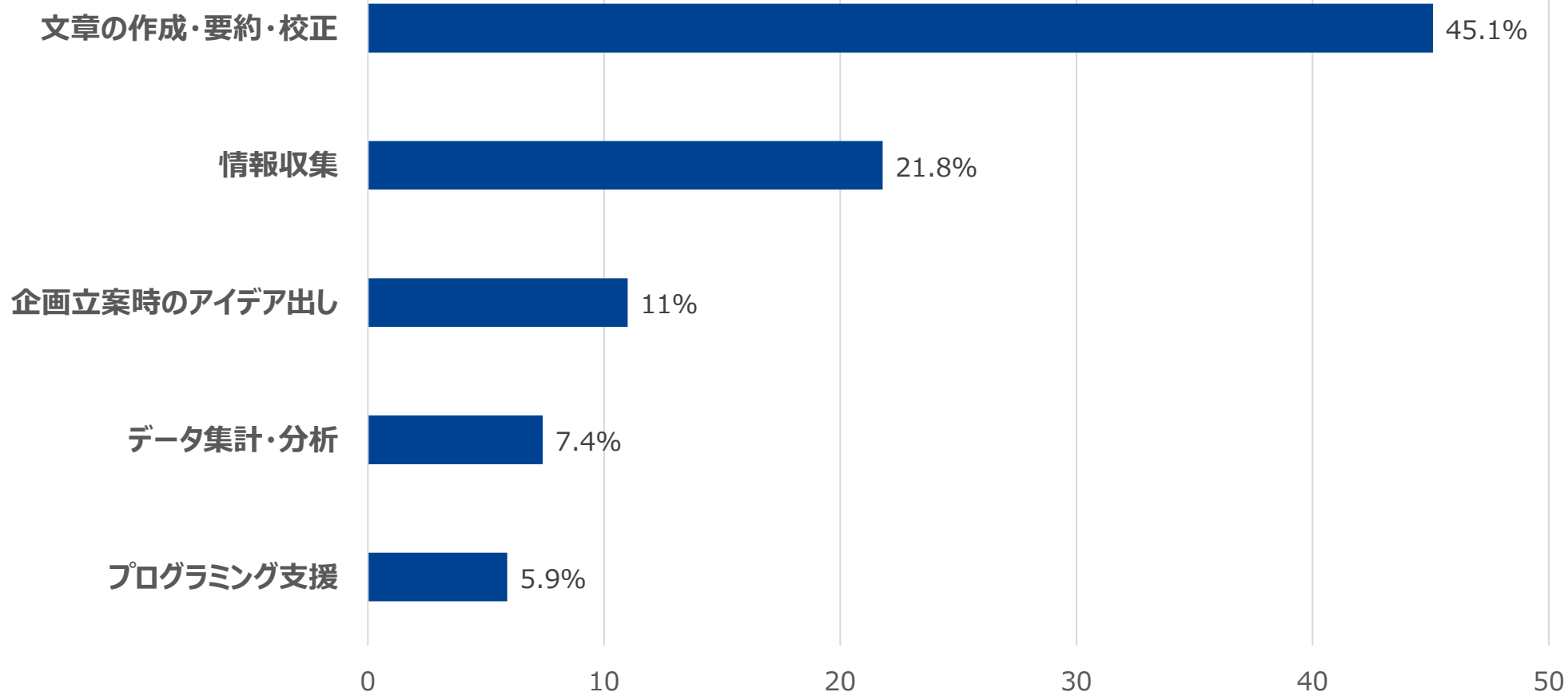
- 生成AIを「活用中」「推進中」と回答した企業の中で、生成AI活用の効果を「期待通り」または「期待を大きく上回る」と回答した割合は64%
- 生成AIの利用について「使っているか」ではなく「効果創出できているか」が重要なテーマとなっている

出典: PwCコンサルティング合同会社「生成AIに関する実態調査2026 春 6カ国比較」(2026年6月10日)

[生成AIに関する実態調査2026 春 6カ国比較—AI変革は選択肢から生存条件へ 変わりゆく世界に日本企業は追いつけるのか— | PwC Japanグループ](#)

多くの企業は「文書作成・情報収集・企画立案」から活用を開始

多くの企業では、生成AIを意思決定の代替ではなく、情報収集や文書作成を効率化するツールとして活用しています。その後、契約書確認や提案書作成、社内ナレッジ活用など、より実務に近い領域へ活用範囲を広げています。



出典：生成AIに関する企業の動向調査（2026年3月）

[生成AIに関する企業の動向調査（2026年3月）](#) | 株式会社 帝国データバンク[TDB]

①文章の作成・要約・校正

メール・議事録・提案資料など、日常的な文書業務を効率化

01

文書作成

02

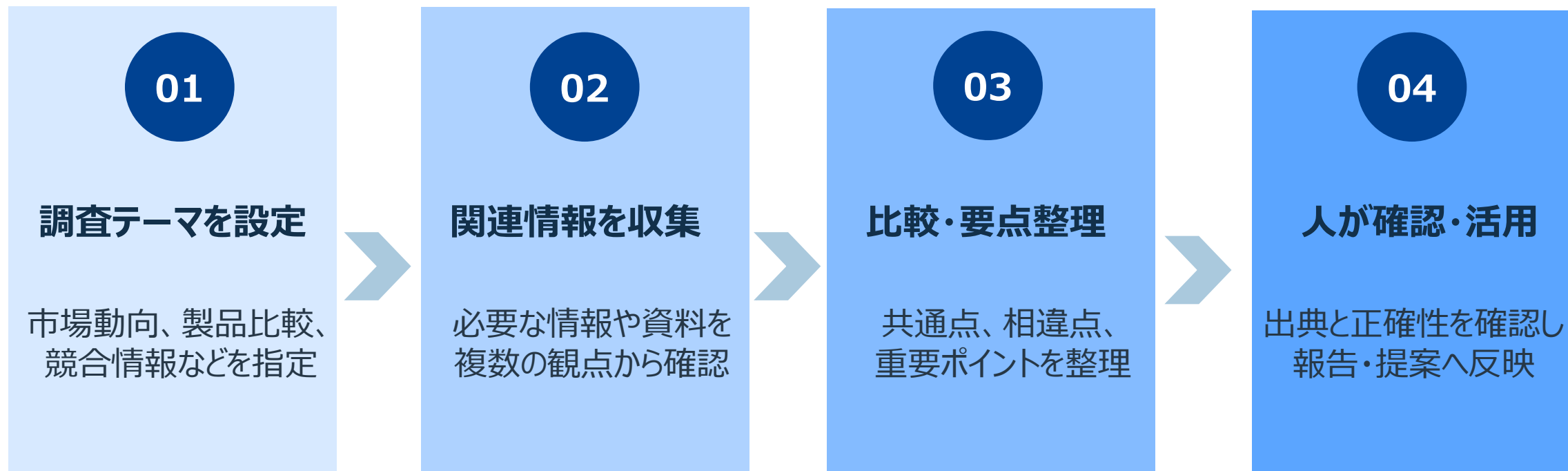
要約

03

校正・書き換え

業務内容	メール返信・報告書・提案資料のたたき台	会議記録・長文資料・調査レポートの整理	誤字・冗長表現・文章トーンの調整
活用方法	要点や条件を入力 → 初稿を生成	文書を読み込ませる → 要点を抽出	目的や読み手を指定 → 表現を修正
期待効果	一から書く負担を軽減	確認すべき内容を整理	文書品質の均一化を支援

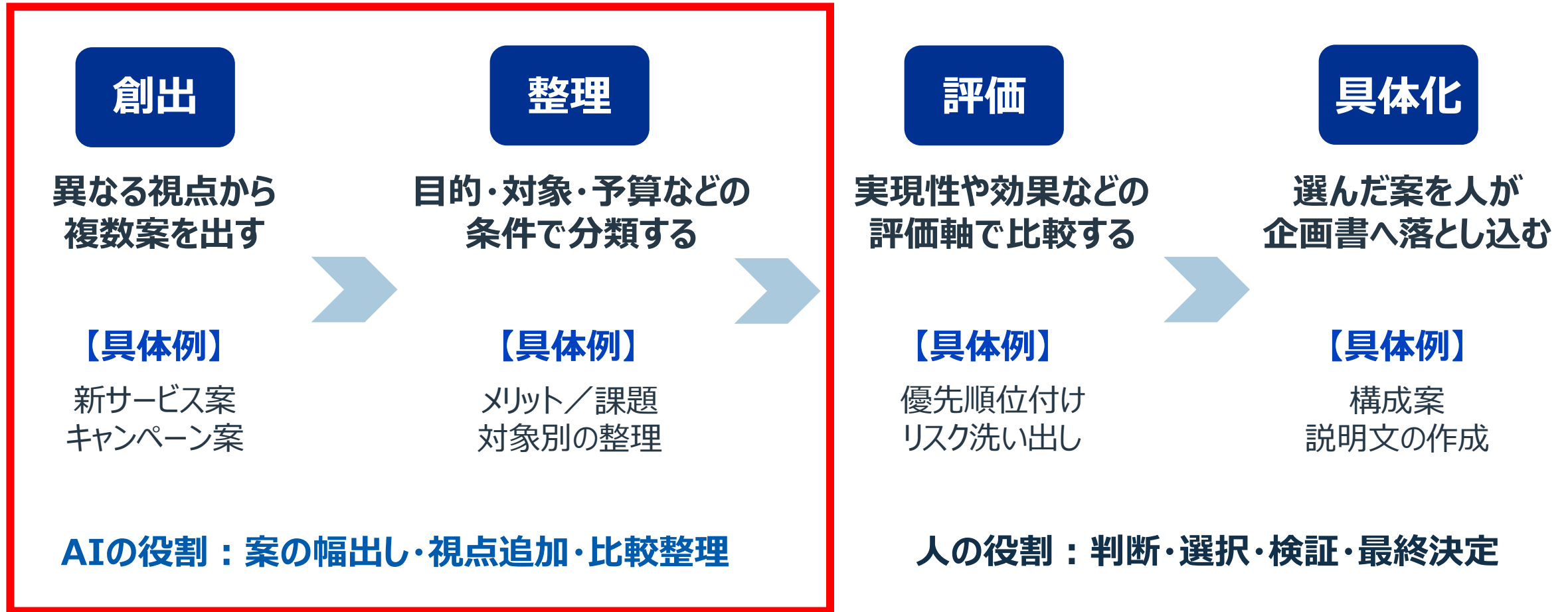
複数の情報を収集・比較し、検討に必要なポイントを整理



情報収集から比較・整理までを効率化し、意思決定に必要な情報を迅速に把握

③企画立案時のアイデア出し

AIによる案出しと人による評価・判断を実現



AIは創出・整理を担当し、人は評価・判断を担うことで企画立案を効率化

1

日本企業における生成AI利用状況

2

生成AI導入企業が抱える課題

3

エンタープライズサーチ「Neuron ES」による解決

4

エンタープライズサーチ「Neuron ES」とは

5

まとめ

こんな状況ありませんか？

1 利用者が一部に偏る



- 一部の人だけが活用
- 全社展開が進まない

2 議事録・要約以外に広がらない



- 定型作業のとどまる
- 業務判断に活かさない

3 効果が見えない



- 投資対効果が不明
- 定量化しづらい

「使えている領域」と「使えていない領域」を分けて考えてみると



多くの企業で成果が出ているのは、「**個人で完結する業務**」

しかし、**会社や組織全体、業務に踏み込むと使いにくくなる**

「任せやすい業務」と「任せにくい業務」を分けて考えてみると

任せやすい業務

✓ 一般的な調査

✓ 会議メモの要約

✓ メール文面の作成

任せにくい業務

? 規定・ルールに基づいた回答

? 類似案件を参考にした提案

? 過去トラブルを踏まえた判断

多くの企業で、「NO」になるのは、
生成AIが回答するために、なんらかの根拠が必要な業務

一般論には強いが、社内の業務で限界がくるのはなぜか

一般論

- ✓ 公な法律や法令
- ✓ 市況・マーケット情報
- ✓ 公開された企業情報
- ✓ 汎用的な文章
- ✓ 一般的なアイデア

自社の正解

- ? 社内規定
- ? 社内のルール
- ? 過去提案書
- ? 障害報告書
- ? 設計書・マニュアル

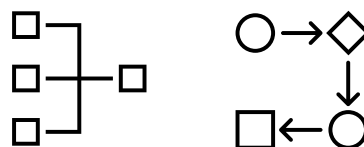
正解の元となる、「社内の根拠」が見えないと、
生成AIは自社の業務の回答を作れない

生成AIが答えられない理由は、生成AIの賢さだけではない

指針・ルール



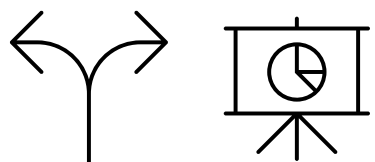
プロセス



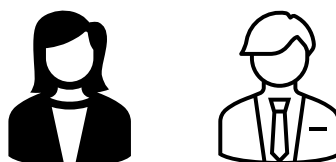
権限



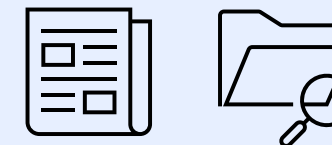
判断基準



役割



情報



AIは十分に賢い！

問題は、AIが参照できる、参照させる情報の質と量にある

情報がないのではなく、見つけれないだけ

利用者

「過去に似た事象は？」

生成AI

「見つかりません」
「これが見つかりました」

☒ SharePoint

☐ ファイルサーバ

☐ Box

☐ DataBase

☐ Google Drive

☐ Notes

AI活用の壁は、生成AIの問題ではなく
検索対象の限定が、価値最大化を阻害している

課題の本質は「社内の正解にたどり着けないこと」

① 生成AIが得意な領域

- 文章作成・要約・翻訳
- 一般情報を使ったアイデア出し
- 個人で完結する業務

② 組織業務で必要なもの

- 社内規定・ルール・判断基準
- 過去提案・トラブル・設計情報
- 利用者の権限に応じた参照

③ 成果を阻む本質課題

- 情報はあるが、分散している
- 検索対象が限られ、見つからない
- 根拠がなければ回答できない

必要なのは、生成AIが「自社の正解」にたどり着ける環境

社内に点在する情報を横断的に検索し、
生成AI活用の土台をつくるエンタープライズサーチ

1

日本企業における生成AI利用状況

2

生成AI導入企業が抱える課題

3

エンタープライズサーチ「Neuron ES」による解決

4

エンタープライズサーチ「Neuron ES」とは

5

まとめ

01



**社内データを
横断検索**

SharePoint・Box・
ファイルサーバーを
一括検索

02



**正しい情報元へ
すばやくアクセス**

全文検索・あいまい検索
で欲しい情報を発見

03



**情報の散在を
解消**

情報を集約し、
ナレッジ共有を促進

04



**最新情報を
自動で維持**

定期クロールで
検索対象を最新化

05



**権限を維持して
AI連携**

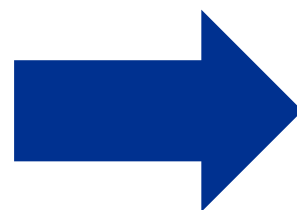
利用者のアクセス権
に応じた検索結果を
表示

NeuronESによる横断・全文検索により得た情報を元として生成AIを活用することで

✓ 正確な情報元

✓ 情報の鮮度

✓ 権限に基づいた情報



AIによる回答品質安定！

AIが正しい回答を出すためには、正しい情報にたどり着ける環境が必要。

NeuronESは「検索ツール」だけでなく、AI活用を支える情報基盤となる。

- 1 日本企業における生成AI利用状況
- 2 生成AI導入企業が抱える課題
- 3 エンタープライズサーチ「Neuron ES」による解決
- 4 エンタープライズサーチ「Neuron ES」とは**
- 5 まとめ

クラウドストレージにおける検索課題を解決する手段として、
企業内のさまざまな文書やデータを素早く横断的に全文検索できる製品です



横断検索

多様なデータソースへの高い接続性

単一インターフェース

1つのインターフェースでデータソース全体に存在する関連性の高い情報を発見

統合インデックス

構造化コンテンツと非構造化コンテンツを単一のインデックスに統合

セキュリティ

自分の権限を持つ文書のみが検索結果に表示

行動データ

タグ付けや文書の絞り込み、社員の検索状況把握

AI

複数ファイルから情報を収集し、要約・比較・評価を実施
会話型AIチャットで更に深掘りした回答を提供

多くのお客様のシステム環境に対応すべく、検索対象を広げています

レポジトリ	接続先
 Notes	● Notes/Domino 6.5以降
 SharePoint SharePoint Online	● SharePoint 2013, 2016, 2019 ● https://xxxx.sharepoint.com
 box	● https://Box.com
 Dropbox	● https://www.dropbox.com/xxxx/
 Google Drive	● https://drive.google.com/xxxx/

レポジトリ	接続先
ファイルサーバ	● SMB1, SMB2, SMB3 (SMB暗号化) 対応ファイルサーバ (Windowsファイルサーバ, Samba, NetApp, NAS等)
ファイルシステム	● Windowsファイルシステム (NTFS) ● Linux
Webサーバ	● HTTP/HTTPS
データベース*	● Oracle ● SQL Server
 desknet's NEO	● パッケージ版の「文書管理」
Garoon	● パッケージ版の「ファイル管理」「掲示板」

* データベースは一例です。他のデータベースをご希望の場合はお問い合わせください。
* 上記に掲載されていないレポジトリをご希望の場合はお問い合わせください。

分類	ファイル形式
テキストファイル	● txt, text, csv等
MS Office文書	● 【XP/2003形式】doc, xls, ppt ● 【2007以降 OOXML形式】docx, xlsx, pptx, ppsx, docm, xls, pptm, ppsm
Visio	● 【2003/2007/2010形式】vsd*1 ● 【2013以降 OOXML形式】vsdx
PDF	● PDF文書
HTML	● htm, html, xhtml, xhtm等 (HTML Version 1.0, 1.1, 2.0, Atom, RSS 2.0等)
リッチドキュメント	● rtf形式のリッチテキスト
Open Document	● odt, ods, odp, odg, ott, ots, otp, otg, sxw, sxc, sxi, sxd, stw, stc, sti, std形式のOpen Document
Googleドキュメント	● gsheets, gslides, gdocsなど

分類	ファイル形式
DocuWorks	● xdw, xbd形式のDocuWorksドキュメント*2
圧縮ファイル	● zip, bz2, tar, z, gz, tgz, 7zで圧縮された文書*3
マルチメディア (オーディオ、ビデオ、画像)	● mp3, jpeg, mpeg等*4
メールファイル	● msgファイル
CADファイル	● dwg形式のAutoCADファイル
一太郎ファイル	● 一太郎 ver5以降

*1 2002以前のバージョンで作成されたファイルやテンプレートを利用しているファイルは解析できない場合があります

*2 別途Fujixerox社のDocuWorks Viewer lightをインストールする必要があります

*3 圧縮されたファイル内の文書のタイトルがインデクシングされます。標準では圧縮文書のコンテンツはインデクシングされません

*4 ファイル名やサイズ、EXIF等のメタデータ（デフォルトでは検索対象外）のみ検索対象となります

既存システムに変更を加えることなく検索対象をクローリング*1
利用者はいつものブラウザで検索するだけ

【社内システム】



*1 検索対象を定期的に巡回し、情報を取得・保存する技術のこと

*2 クローリングした情報が検索エンジンのデータベースに登録された状態のこと

*3 検索サーバーは別途ご準備いただく必要があります

1

日本企業における生成AI利用状況

2

生成AI導入企業が抱える課題

3

エンタープライズサーチ「Neuron ES」による解決

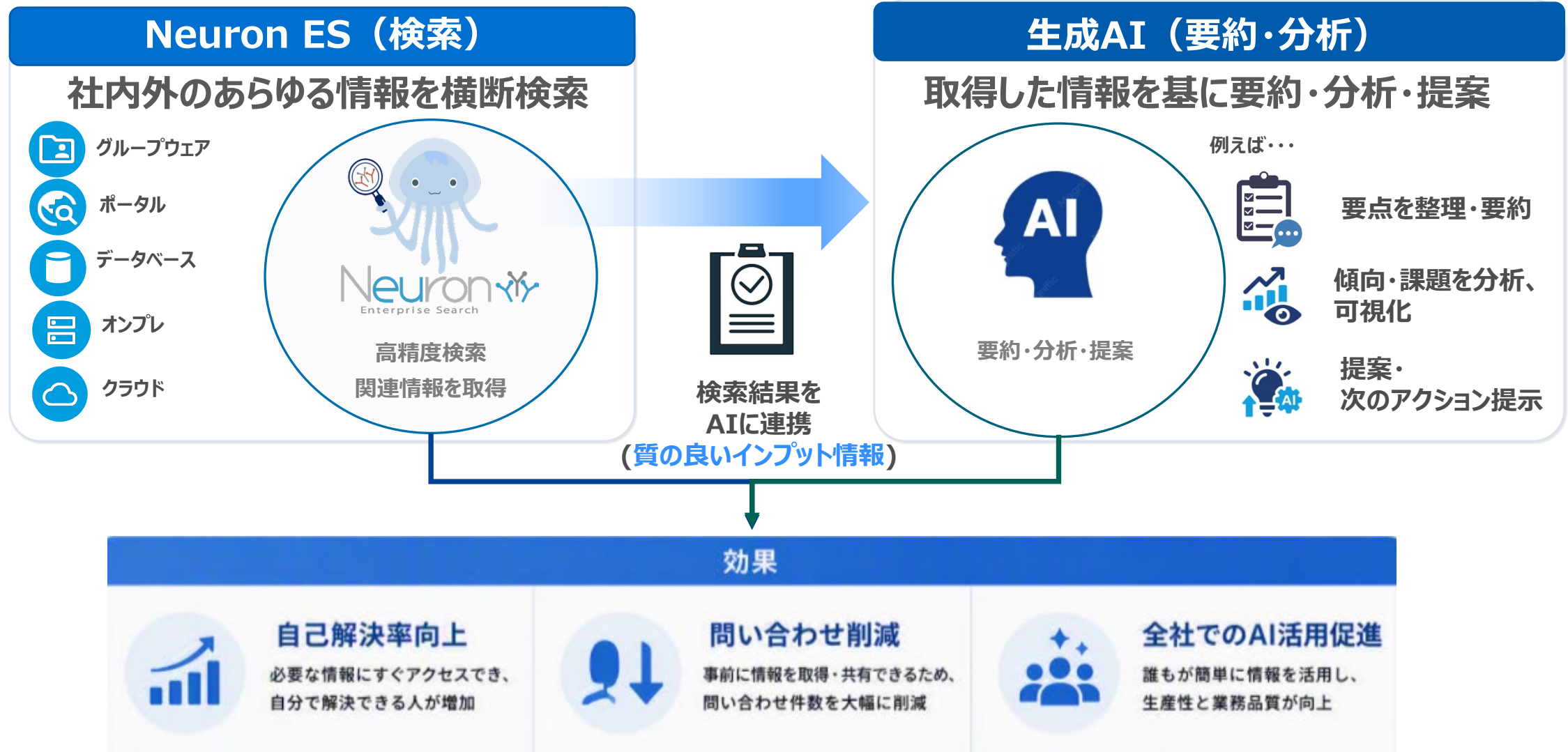
4

エンタープライズサーチ「Neuron ES」とは

5

まとめ

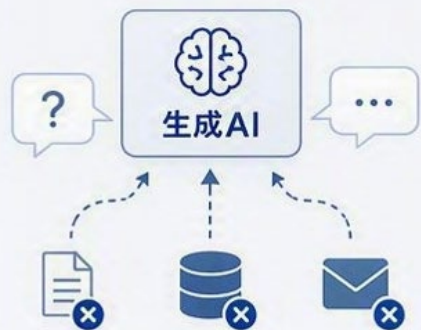
検索はNeuron ES、思考は生成AIの組み合わせが効果的



正しい情報に基づき、迅速な意思決定とアクションを実現

生成AIの効果を左右するのは『データ』と『検索基盤』の品質

✕ 生成AI単体では限界がある



- ・情報が不足、分散している
- ・検索精度が低い
- ・不正確な回答や推測が増える

思った成果が得られない

データ

- ・高品質なナレッジ
- ・社内情報（文書、FAQ、業務情報）

検索基盤

- ・必要な情報を正確、迅速に発見

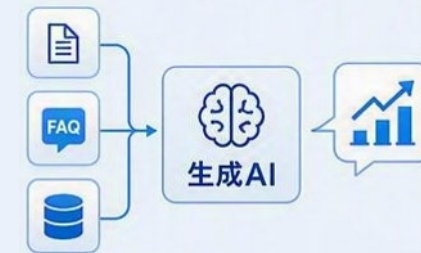
生成I

- ・要約、分析、提案

効果

- ・自己解決率向上
- ・問い合わせ削減
- ・会社でのAI活用促進

- ✓ 良質なデータ
- ✓ 強力な検索基盤



- ・必要な情報を正確に取得
- ・根拠に基づく高精度な回答
- ・業務に役立つインサイトを提供

AIの価値を最大化

検索で70点の回答しか出ない理由、
自社のナレッジ環境をもう一度見直してみませんか？

The background of the slide is a light blue abstract pattern consisting of a network of interconnected dots and lines, resembling a molecular or digital structure. This pattern is more prominent in the top and bottom sections of the slide.

Panasonic

D Powered by Digital